

ガスこんろの異常燃焼事故

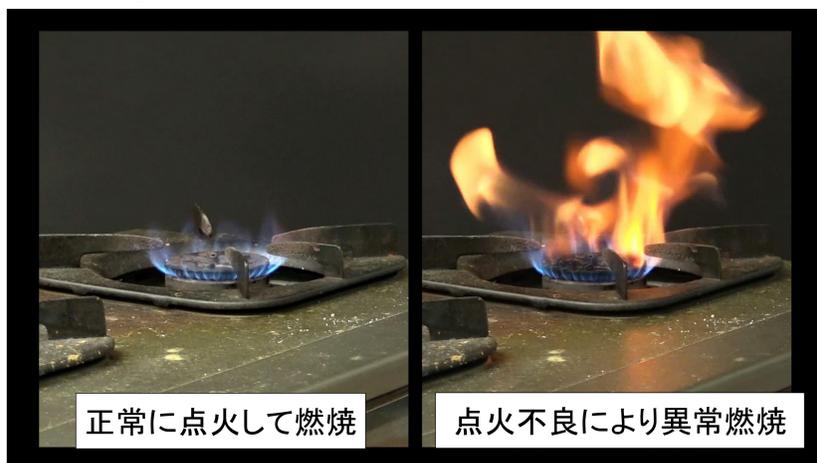
事故の概要

【事例】ガスこんろの点火操作を行ったところ、1人が頭部にやけどを負う火災が発生した。

事故の原因

【事例】ガスこんろのバーナーキャップが汚れた状態で点火操作を繰り返したため、滞留したガスに引火し、異常燃焼したものです。使用者の方は点火を確認するために、顔を近づけて点火操作をしていました。

【NITEの再現実験】



バーナーキャップが汚れた状態(写真左)で点火動作を行うと、異常燃焼する場合があります。(写真右)



事故防止のために

- ◆ガスこんろが点火しないときは、バーナー炎口が詰まっているか確認してください。目詰まりしていたら、炎口をブラシや針金などで掃除してください。
- ◆正常に点火できなかった場合、未燃ガスが周囲に滞留している可能性があります。再点火する際は、周囲に未燃ガスが無くなるまでしばらくお待ちください。
- ◆点火操作時や使用中は、バーナー付近に触れたり、顔を近づけたりしないでください。

